

第4節 「自発的な活動の促進」



「こども環境探検隊」の開催（小国地域）

第4節 「自発的な活動の促進」

1 環境教育の推進

施策の実施状況（◎：完了、○：継続中、△：実施予定、×：未着手）

進捗状況	主要な施策
(1) 啓発事業の推進	
○	① 日常における環境配慮指針の周知
○	② 環境保全の取り組みや啓発事業の実施、充実
○	・市内各イベントにおける環境啓発
○	・花いっぱいフェア、植栽イベントの開催
○	・環境月間行事の充実
○	・自然観察会の実施
○	・ふれあい林業事業
○	・ごみ処理施設等の見学会の実施
○	③ 啓発資料の充実
○	・環境基本計画、環境配慮指針の周知
○	・環境家計簿（エコノート）の作成配布
○	・環境関連パンフレット、ビデオ教材等の作成
(2) 環境教育の推進	
○	① 子どもの環境教育の推進
○	・小・中学校での教育課程における環境学習の取り組み
○	・自然観察会、こども環境探検隊の実施・開催
○	・こどもエコクラブの育成
○	・緑の少年団の育成
○	② 社会教育における環境教育の推進
○	・市民講座等における環境学習の取り組み
○	・自然観察会・展示会、星座教室等の実施・開催
○	・中古衣料品即売会への支援
○	③ 環境アドバイザーの活用
(3) 環境情報の収集と提供	
○	① 調査、監視の充実
○	・自然環境情報、生活環境情報の継続的な収集
○	② 情報提供事業の展開
○	・環境情報誌の発行
○	・長岡市ホームページによる情報の提供・市民意見の聴取

(1) 啓発事業の推進

ア 日常における環境配慮指針の周知

市民の日常生活及び事業者の事業活動において環境に配慮すべき事項を明らかにし、環境に配慮した自主的な行動を求めるため、市民向け・事業者向けの指針を作成し、周知しています。

・ 市民の環境配慮事項

「長岡市環境基本計画」において(1)「地球環境にやさしい循環型のまち」「環境汚染のない安全なまち」にするための配慮(34項目)、(2)「心の豊かさを感じられる快適で魅力的なまち」にするための配慮(9項目)として計43項目を示しています。

・ 事業者の環境配慮事項

「長岡市環境基本計画」において(1)事業活動全般における配慮(20項目)、(2)製造事業における配慮(4項目)、(3)流通・販売・サービス事業における配慮(11項目)、(4)建設事業における配慮(9項目)、(5)農業における配慮(7項目)として計51項目を示しています。

・ 市の環境配慮事項

「長岡市環境基本計画」において(1)総務・管理部門(18項目)、(2)市民生活関連部門(7項目)、(3)都市施設部門(11項目)、(4)産業振興部門(9項目)、(5)教育部門(6項目)として計51項目を示しています。

・ 地域別環境配慮事項

「長岡市環境基本計画」において(1)信濃川沿い平野地域東部(12項目)、(2)信濃川沿い平野地域西部(8項目)、(3)山間丘陵地域東部(9項目)、(4)山間丘陵地域西部(6項目)、(5)海岸丘陵地域(8項目)計43項目を示しています。

また、長岡市の公共建築物を整備する際に検討すべき環境配慮の内容についての項目や目標及び具体例を示した「長岡市公共建築物環境配慮項目表」を平成19年2月に作成し、その実施に努めています。

イ 環境保全の取り組みや啓発事業の実施、充実

(ア) 市内各イベントにおける環境啓発

市民の皆さんに楽しみながら環境について関心を持ってもらうため、各種イベントにおいて環境啓発ブースを設置し、環境に関するパネル展示やエコ体験コーナーを実施しました。リバーサイド千秋アピタ長岡店で開催された「エコフェスタ」ではエコドライブ体験や発電体験、うちエコ診断等を行いました。

その他、「夏休み子ども環境体験フェア」を開催し、「施設見学」や「ペットボトルソーラーカー作り」を行い、体験を通じた環境保全に係る意識啓発を行いました。

また、市民の皆さんから募集した「エコロジー標語コンクール」の入賞作品を「エコフェスタ」の際に合わせて展示しました。

(イ) 花いっぱいフェア、植栽イベントの開催

まちの緑化に対する意識の高揚を図り、緑豊かな潤いのあるまちづくりを推進するため、平成5年から市民の花のプランターづくり、グリーンマーケット、花いっぱい活動の紹介、花の名前当てクイズなどを行う花いっぱいフェアを開催しています。平成28年度は、長岡市緑花センター「花テラス」がある「長岡市民防災公園」とアオーレ長岡の両会場において、「長岡市花いっぱいフェア 2016」と「全国花のまちづくり長岡大会」を同時開催し、花と緑に関する様々なイベントを実施し、多くの来場者で賑わいました（来場者約42,000人）。

(ウ) 環境月間行事の充実

環境に関する認識を深めてもらい、環境保全に対する取り組みを促進するため、環境月間である6月に啓発事業を行いました。

市有施設の駐車場等にアイドリングストップ啓発のぼり旗を設置して、不要なアイドリングの防止啓発に努めました。

また、平成28年6月21日（夏至の日）と7月7日（クールアース・デー：政府が2008年の洞爺湖サミット開催を契機として、地球温暖化に対する取り組みを推進する日として設定）の夜間において、公共施設等の照明を消す「ライトダウンキャンペーン」を行いました。計60施設で電気が消灯され、約426kWhの節電、二酸化炭素換算で約243kgの温室効果ガスの削減ができました。

(エ) 自然観察会の実施

第3節—2環境資源の利用—(3)自然とのふれあいの推進—エを参照(63ページ)

(オ) ふれあい林業事業

都市部の住民とのふれあいを通し林業への理解を深め、林業の活性化を図るため実施しているもので、平成28年度は、中越よつば森林組合と協力し、「ながおか農業ふれあいまつり」において木工教室を実施しました。

平成28年11月3日開催のみしま産業まつりにおいて、中越よつば森林組合が木工教室を開催しました。

また、太平山において、下草刈り・枝打ち等の森林整備を行いました。

(カ) ごみ処理施設等の見学会の実施

平成28年度は、市内の小学校の社会科授業や中学校、高校の総合学習など学校関係の見学が52件・2,539人、一般の団体の見学が96件・1,044人ありました。合計で148件・3,583人の方が寿・鳥越クリーンセンターごみ処理施設、リサイクルプラザ、生ごみバイオガス発電センターを見学しています。

ごみ処理施設、リサイクルプラザ、生ごみバイオガス発電センターなどを実際に見てもらい、リデュース・リユース・リサイクルを始めとして環境問題を考えるきっかけになっています。

ウ 啓発資料の充実

(ア) 環境基本計画、環境配慮指針の周知

平成 19 年度に、環境基本計画の概要版を作成し、市役所等の窓口への配置やホームページでの紹介などにより、その周知を図っています。

第4節—1環境教育の推進—(1)啓発事業の推進—アを参照(73 ページ)

(イ) 環境家計簿（エコノート）の作成配布

地球温暖化や環境にやさしい取り組みについて、子ども向けに分かりやすく説明した「エコノート」を希望する学校及び市民に配布しています。

(ウ) 環境関連パンフレット、ビデオ教材等の作成

ごみと資源物の分別方法とごみ処理の様子などをわかりやすく紹介するDVDとビデオ「家庭ごみの分け方と出し方」を、町内会や家庭だけでなく学校の教材としても随時貸出しを行っています。

(2) 環境教育の推進

ア 子どもの環境教育の推進

(ア) 小・中学校での教育課程における環境学習の取り組み

各学校では、環境教育を年間教育計画に位置付け、教育活動全体の中で自然体験活動や環境保全に関する学習を計画的・継続的に実施しています。

①社会科副読本の環境学習項目の充実

小学校3・4年使用の社会科副読本「わたしたちのまち長岡」の学習項目に『くらしのなかの水とごみ』を設けています。水の学習では、浄水や節水について、また、ごみの学習では、ごみの減量化や分別収集等についての学習を行い、環境学習を推進しています。

この副読本は3年おきに改訂しており、平成28年度は平成28年度版を使用しました。長岡市が平成16年から実施しているごみ収集の有料化や平成25年から開始したごみの10種類12分別の分別、収集方法、生ごみバイオガス化事業などについて詳しく記述しています。また、見出しを『ごみをへらそう、見直そう』として、もったいない意識の醸成とごみを増やさない3R（リデュース、リユース、リサイクル）といった児童にできる取組や、『環境にやさしいまちづくり』として、長岡市の3つの新エネルギー（地場産の天然ガス、バイオマス資源、太陽エネルギー）を紹介するなど、環境学習の充実に努めました。

②地域の自然を生かした特色ある環境学習の取り組み

栖吉川など学区を流れる河川などで、指標生物の生息を調査し、過去のデータと照らし合わせ、河川環境の変化と保全などについて学びました。生物と水の環境について学ぶ学校が増えています。

③環境と人権を守る取り組み

学校生活で、節電、節水やリサイクル、環境保全等に取り組む『にいがたスクールエコ運動』を継続して行いました。また、環境学習、総合的な学習の時間、道徳と関連を図り、新潟水俣病について学び、環境と人権を守るために「自分たちができること」について学んでいます。

④環境にやさしい学用品、教材の使用

長岡市が採択している教科書では、その多くに再生紙が使用されています。また、児童生徒の使っているノートの多くでも再生紙が使用されています。

(イ) 自然観察会、こども環境探検隊の実施・開催

自然環境保全の重要性について理解を深めてもらうため、小学生を対象とした「こども環境探検隊」を開催しています。

平成 28 年度は 7 月 27 日、29 日及び 30 日に計 81 名が参加し、小国町法末のビオトープや遊歩道等において水生生物の採取や植物の観察を実施しました。

(ウ) こどもエコクラブの育成

(公財)日本環境協会は、小中学生が主体的に行う環境学習や環境保全に関する活動を支援する「こどもエコクラブ」事業を行っています。

市は、協会とこどもエコクラブ登録団体間の事務手続き等に関する仲介を行っています。

市内では、2 クラブ 34 人が登録しており、平成 28 年度は、いきものをテーマとし、植樹活動やホテルに関する研究等、様々な活動を行いました。

(エ) 緑の少年団の育成

自然に親しみ、緑を守り、緑を育てる思想を啓発し、心豊かな人間に育っていくことを目的に緑の少年団を育成しています。市内では、長岡市緑の少年団、山古志緑の少年団、かみしお緑の少年団、かわぐち緑の少年団の 4 団体が結成されており、平成 28 年度は、募金活動等を行いました。

イ 社会教育における環境教育の推進

(ア) 市民講座等における環境学習の取り組み

「まちなかキャンパス長岡」で、環境保全に関する講座を開講しました。

テ ー マ	参加者数(人)	開 催 日
まちなかカフェ「田んぼが洪水を防ぐ!？」	12 人	平成 28 年 6 月 17 日
まちなかカフェ「蛍を愛でナイト in 越路」	17 人	平成 28 年 6 月 22 日
まちなかカフェ「ミネラルウォーターってどんな水?ーリスク・エコについてのよもやま話ー」	13 人	平成 28 年 10 月 7 日
まちなか大学「雪と暮らす」	のべ 61 人	平成 28 年 5 月 13~28 日 (5 回コース)
まちなか大学「森と暮らす・山で暮らす」	のべ 66 人	平成 28 年 11 月~12 月 (5 回コース)
まちづくり市民研究所第 3 期 (テーマ「食の資源循環で長岡を元気に!」)	のべ 117 人 (年度内計)	平成 27 年 9 月~平成 28 年 9 月

(イ) 自然観察会・展示会、星座教室等の実施・開催

科学博物館では、平成 28 年度に「バードウィーク特別展 この鳥を守ろう~長岡の希少鳥類と天然記念物の鳥たち~」などを開催しました。

また、例年行っている「市民探鳥会」「キノコを調べる会」などで、地域の自然について学習する機会を設けました。

また、青少年文化センター屋上で「星空シアター」を開催しました。

平成 28 年 4 月 : 1 回...参加者数 38 人

平成 28 年 5 月 : 2 回...参加者数 41 人

平成 28 年 7 月 : 1 回...参加者数 61 人

平成 28 年 8 月 : 2 回...参加者数 82 人

平成 28 年 9 月 : 2 回...参加者数 58 人

平成 28 年 11 月 : 1 回...参加者数 22 人

これらにより、市民の皆さんが大自然と触れ合い、生涯学習における環境教育の推進を図ることができました。

(ウ) 中古衣料品即売会への支援

家庭で眠っている贈答品や中古衣料品を活かすため、中古衣料品即売会を開催しました。この即売会は、長岡市消費者協会の主催により年 1 回開催されるもので、市消費生活センターも協力しました。

ウ 環境アドバイザーの活用

平成 28 年 11 月～12 月にかけて市内小学校を会場に実施した「地球温暖化対策講座」において、新潟県が委嘱する地球温暖化防止活動推進員のうち IPCC リポートコミュニケーターの資格を持つ方に講師を依頼しました。地球温暖化の基本的な情報を伝えるほか、省エネクッキングや電気製品の電力量調べなどを実施し、家庭でできる地球温暖化防止の取り組みなどを紹介しました。



地球温暖化対策講座

(3) 環境情報の収集と提供

ア 調査、監視の充実

(ア) 自然環境情報、生活環境情報の継続的な収集

地下水や河川の水質調査を通じた水質汚濁に関する情報や、環境に関する各種イベントや施策の生活環境情報を継続的に収集し、「環境に関する年次報告書」やホームページで情報提供しています。

イ 情報提供事業の展開

(ア) 環境情報誌の発行

ごみの減量・リサイクルの必要性について市民や事業者から理解を深めてもらうため、平成 14 年度から「ごみ情報誌」を発行しています。平成 28 年度は 11 月、3 月の計 2 回発行し、市政だよりとともに全戸配布しました。

(イ) 長岡市ホームページによる情報の提供・市民意見の聴取

環境保全対策に係る計画や環境啓発事業、自然環境保全、公害規制、公害等の調査、地下水保全などに関する情報をホームページに公開しています。

また、「環境に関する年次報告書」では、「長岡市環境基本計画」の進捗状況を市民に公表するとともに、市民の方々から意見を募り、これからの施策に反映させるための意見書用紙を添付しています。

2 市民の参画と協働

施策の実施状況（◎：完了、○：継続中、△：実施予定、×：未着手）

進捗状況	主要な施策
(1) 市民の取り組みの推進	
○	① 環境NPO等ボランティア活動の支援
○	② 環境家計簿（エコノート）の作成配布
○	③ 資源回収団体の支援
○	④ 家庭用生ごみ処理器の設置補助
○	⑤ 住宅用太陽光発電システムの設置補助
○	⑥ クリーン作戦の推進
○	⑦ 市民緑地の整備・市民参加による公園づくりの推進
○	⑧ 環境ネットワークの形成
○	・環境保全活動の共同実施
○	・活動団体同士の情報交換
(2) 事業者の取り組みの推進	
○	① 事業者の環境保全対策の取り組みの支援
○	・天然ガス自動車の普及促進事業の展開
○	② エコビジネスの支援
○	・事業者向け環境啓発セミナーの開催
○	③ 事業所への環境管理システムの普及促進
○	・エコアクション 21（環境評価活動プログラム）の普及促進
○	④ 環境ネットワークの形成
○	・中越地区環境保全協議会との連携による情報発信

(1) 市民の取り組みの推進

ア 環境NPO等ボランティア活動の支援

ごみの減量、リサイクル実践活動を通して、市民の環境意識の高揚とボランティア団体の育成を図るため、平成11年度から使用済み割りばしの再生利用（パルプ原料、炭の原料）によるごみの減量を行う団体に、作業場や使用済み割りばしを提供しています。

イ 環境家計簿（エコノート）の作成配布

第4節－1環境教育の推進－(1)啓発事業の推進－ウ－(イ)を参照(75ページ)

ウ 資源回収団体の支援

古紙類や金属類等を回収する子ども会等に対して、資源回収奨励金を交付しています。平成28年度 回収実績：約2,815トン 交付奨励金：約1,407万円

エ 家庭用生ごみ処理器の設置補助

第1節－2廃棄物の減量とリサイクル－(1)廃棄物の排出抑制－ア－(ウ)を参照(12ページ)

オ 住宅用太陽光発電システムの設置補助

第1節-1地球環境問題への取り組みの推進-(1)地球温暖化の防止-カー(カ)を参照(8ページ)

カ クリーン作戦の推進

第2節-5廃棄物の適正処理-(3)ごみ不法投棄の防止と環境美化対策-イを参照(50ページ)

キ 市民緑地の整備・市民参加による公園づくりの推進

長岡市民防災公園内の長岡市緑花センター「花テラス」では、育苗温室や園芸に関する情報コーナーを備えており、花と緑に関する様々なイベントを展開しています。

ク 環境ネットワークの形成

(ア) 環境保全活動の共同実施

特定非営利活動法人地域循環ネットワークが取り組む、割りばしリサイクルや使用済み使い捨てカイロ回収などの環境保全活動に協力しました。

(イ) 活動団体同士の情報交換

平成28年9月3日にアオーレ長岡等で開催された「市民活動フェスタ」において、市内のNPO等各種団体が集まり、日頃の活動の発表を通じて、参加団体同士による情報交換が行われました。

(2) 事業者の取り組みの推進

ア 事業者の環境保全対策の取り組みの支援

(ア) 天然ガス自動車の普及促進事業の展開

第1節-1地球環境問題への取り組みの推進-(1)地球温暖化の防止-カー(イ)を参照(7ページ)

イ エコビジネスの支援

(ア) 事業者向け環境啓発セミナーの開催

平成28年12月8日に中越地区環境保全協議会、長岡地区産業廃棄物協議会との共催により、合同研修会を開催しました。

「水銀」をテーマに、新潟県県民生活・環境部による水銀に関する環境法令の説明や、野村興産株式会社及び株式会社北陸ジオテックによる水銀使用廃製品の処理事例や法改正に関する講演を行いました。



事業者向け啓発セミナー

ウ 環境ネットワークの形成

(ア) 中越地区環境保全協議会との連携による情報発信

平成 28 年 6 月 15 日に開催した通常総会において、事業者の環境保全の対策等について情報交換を行いました。